

(別紙)

平成29年度 産業廃棄物税基金充当事業 実績報告書

事業名：環境産業（資源循環）コーディネーター派遣事業

事業実施期間：平成22年度から平成31年度

担当課室名：環境生活部環境政策課

担当班名 環境産業振興班

TEL：022-211-2664

e-mail:kankyoi@pref.miyagi.lg.jp

URL：http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/eic.html

1 事業の目的

循環型社会形成に必要な個別企業の3Rの推進を目的に、3R推進の仕組（組織）作りの支援、環境・リサイクル産業の育成（技術開発及び優良化の支援）、主に産業廃棄物の排出事業者や中間処理業者等の省エネルギー推進、新エネルギー設備導入支援のために活動する環境産業コーディネーターを県内各地域・各企業に派遣して、循環型社会の形成を推進する。

2 当該年度の実施事業の概要・実績

民間企業において製造管理や品質管理等の実務経験を有する者を非常勤職員「環境産業コーディネーター」として配置し、次のような活動を展開しながら企業の3Rの取組を支援した。

【主な支援活動】循環型社会形成を推進するための以下の活動

- ・ 個別企業の3R推進等のための支援活動
- ・ 地域毎の3R推進等のための企業連携（エコフォーラム）の支援活動
- ・ 産学連携によるリサイクル技術の共同研究開発支援活動
- ・ 産業廃棄物の適切な再使用、再生利用に関する情報提供システムの運営

3 当該年度の実施事業の成果

- ・ 平成29年度の企業訪問実績は、延べ1,113件であった。
- ・ 企業訪問等を機に廃プラスチック類に係る中国の輸入停止措置の情報をいち早く入手し、県内の多くの排出・処理事業者を訪問して、その動向を調査したほか、「廃プラ資源中国輸入ストップ！緊急セミナー」を開催するなど、全国の自治体に先駆けて廃プラ対策を推し進めた。
- ・ 「みやぎリサイクル事業者ガイド」（旧：リサイクルのススメ）の宮城県公式Webサイトの「情報公開情報」の更新に向け、多く事業者の最新情報を収集・整理した。
- ・ 各地域のエコフォーラムの支援活動のほか、「エコフォーラム幹事企業連絡会」を開催し、エコフォーラムの取組の活性化のため、エコフォーラム間の情報共有を図るとともに、産廃税等関連補助事業について情報提供を行った。
- ・ エコフォーラムの取組の恒常化への対策として、複数のエコフォーラムの連携した取組や先進事業者への訪問等を多く提案し実現につなげることで、エコフォーラムの取組の活性化を図った。
- ・ 3R推進の企業間コーディネートから派生して、環境関連企業間のマッチングも行った。

4 今後の展開

各業界に応じた3R推進への支援活動、地域における3R推進のための地域エコフォーラムの運営の支援、産学連携によるリサイクル技術の共同研究開発支援及び個別企業ごとに応じた課題解決

支援活動を行うことで、循環型社会の形成を推進する。

また、平成29年度に引き続き、廃プラスチック類の中国輸入停止措置の影響をモニタリングするとともに、今後発生が見込まれる課題に対して先回りした事業者支援施策を展開する。

さらに、企業のニーズと大学等のシーズをマッチングさせるような産学連携を強化し、産業廃棄物の3Rに取り組む企業の課題解決に向けた支援活動を行う。

5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果等を示す指標の数値

(指標：3R活動支援件数(顕著な成果数))

単位：件

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
2	3	3	3	3

※平成29年度の顕著な成果

- ①企業訪問等を機に廃プラスチック類に係る中国の輸入停止措置の情報をいち早く入手し、県内の多くの排出・処理事業者を訪問して、その動向を調査したほか、「廃プラ資源中国輸入ストップ!緊急セミナー」を開催するなど、全国の自治体に先駆けて廃プラ対策を推し進めた。
- ②県内のホヤ殻処理事業者がホヤ殻の受入条件を厳格化したことに伴い、県内の多くのホヤ加工事業者がその処理に困窮したことを受け、ホヤ加工事業者を重点訪問して対応策の指導と補助申請への誘導を行い、多くの事業者の課題解決に寄与した。
- ③廃石膏ボードの発生・埋立状況の調査を目的に排出事業者及び処理事業者を広く訪問し、県内での廃石膏ボード処理の実態を把握するとともにその状況をフロー図として整理することで、今後の廃石膏ボードの3R推進に向けた方向性を提示した。

6 事業費の推移

単位：千円

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
21,912	20,348	22,795	21,161	20,857